

2024年12月23日

各位

三菱製紙株式会社

中期経営計画(2026年3月期-2028年3月期)骨子について

2026年3月期~2028年3月期の中期経営計画骨子を下記の通りお知らせ致します。
中期経営計画の詳細は2025年5月に発表いたします。

記

1. 中期経営計画(2026年3月期-2028年3月期)の基本方針

「“SHINKA”する130年^{NEXT}企業へ」

※三菱製紙(株)は2028年4月に創立130周年を迎えます。

- ① 技術・研究のSHINKA(深化)で
特色ある機能・環境配慮商品を拡大、生産性向上を加速
- ② 地球環境への貢献をSHINKA(進化)
- ③ ガバナンス・人的資本経営のSHINKA(浸化)

2. 経営目標値

連結指標	目標値(2028年3月期)
売上高	2,500億円
営業利益	200億円
営業利益率	8%

<本件に関するお問い合わせ先>

企業戦略部長 山田 大輔 TEL: 03-5600-1488

以上

次期中期経営計画 (2026年3月期 – 2028年3月期) 骨子

2024年12月23日 (月)

三菱製紙株式会社

“SHINKA”する130年 企業へ

※三菱製紙(株)は2028年4月に創立130周年を迎えます

- ① 技術・研究のSHINKA（深化）で
特色ある機能・環境配慮商品を拡大、生産性向上を加速
- ② 地球環境への貢献をSHINKA（進化）
- ③ ガバナンス・人的資本経営のSHINKA（浸化）

業績目標値

- 中長期アスピレーションは、機能商品事業の売上高倍増で売上高3,000億円、営業利益率10%。
- 次期中期経営計画(2028年3月期)は、売上高2,500億円、営業利益率8%まで伸長。

	2025年3月期 予想	次期中期経営 計画目標値	中長期 アスピレーション
売上高	1,970	2,500	3,000
機能商品事業	1,010	1,500	2,000
紙素材事業	970	1,000	1,000
その他・消去	▲10	0	0
営業利益	80	200	300
機能商品事業	45	150	250
紙素材事業	35	50	50
営業利益率	4.1%	8.0%	10.0%
機能商品事業	4.5%	10.0%	12.5%
紙素材事業	3.6%	5.0%	5.0%
ROE	8.1%	10%	≥10%

目標値達成に向けた取組概要

①技術・研究のSHINKA(深化)で 特色ある機能・環境配慮商品を拡大、生産性向上を加速

高付加価値化とグローバル展開でSHINKAする

機能商品事業

目標売上高 1,500億円
営業利益率 10%

- ・情報・画像メディア(※1)のシェア拡大(深化)
- ・機能性不織布製品(※2)のトップランナーへ(進化)



感熱紙



水処理膜基材

- (※1) オンデマンド化に対応した感熱紙・インクジェット用紙等
(※2) 水処理膜基材・蓄電デバイス用セパレータ・フィルター等

環境配慮商品拡販と生産性向上でSHINKAする

紙素材事業

目標売上高 1,000億円
営業利益率 5%

- ・包装材・国産材100%パルプの用途拡大(深化)
- ・八戸・北上工場の運営一体化(進化)



包装材



国産材

SHINKAで三菱製紙の真価を高める **技術・研究開発**

- ・コア技術の活用(芯化)とDX推進(進化)による開発力強化

②地球環境への貢献をSHINKA(進化)

カーボンニュートラル実現に向けた取組みの加速

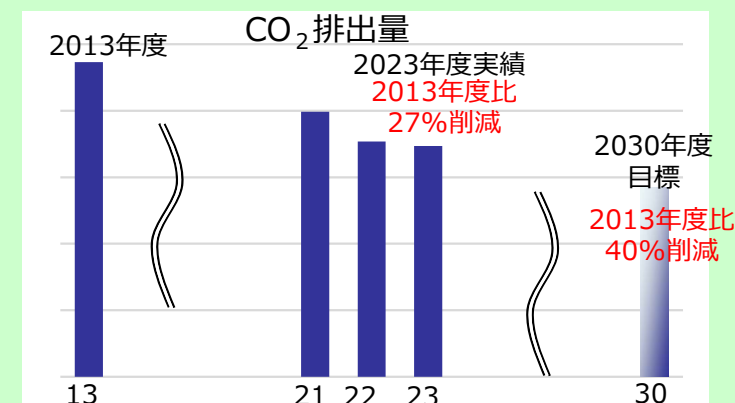
- 業界最先端の化石エネルギー効率を実現する基盤作り
 - ✓ 中間目標：2030年エネルギー起源CO₂排出量を2013年度比40%削減

- グリーントランスフォーメーション（GX）への挑戦
 - ✓ 次世代エネルギーやCCS(※)の導入で地域・異業種と連携した活動を推進

(※) 二酸化炭素回収・貯留技術

- 企業価値を高める気候変動リスクへの取組
 - ✓ GXリーグやTCFD(※)等の環境関連情報開示プログラムを通じた透明性の向上

(※) TCFD：気候関連財務情報開示タスクフォース



カッシー

ニッシー

③ガバナンス・人的資本経営のSHINKA(浸化)

ガバナンストランスフォーメーションへの挑戦

- ステークホルダー・エンゲージメント向上
- SDGsへの貢献による事業拡大と、相応しいガバナンスの確立

ダイバーシティ&インクルージョン：持続と拡大のための人財確保

- ワークライフバランスとインクルージョン推進
- 人財の確保・伝承・グローバル化

従業員への成長機会の提供とインテグリティ経営

- モチベーションアップとスキルアップ
- インテグリティ重視の企業文化確立

デジタル革新（DX）の推進で働きやすさと生産性を両立

- 業務の自動化・効率化推進



ダイバーシティ推進

中期経営計画の詳細は2025年5月に発表いたします。